



ありがとう愛・地球博～みなさんはどんな発見をし、どんな出会いや思い出ができたのでしょうか?～

ともに歩み、ともに成長していく 福祉ホームB型「あしび」

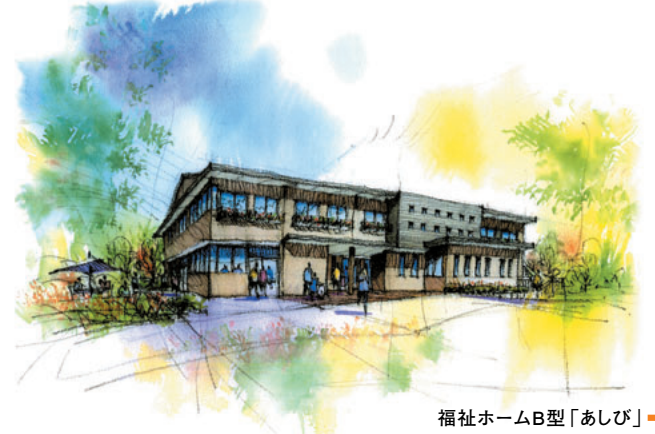
在宅支援事業部 荒木 多美枝

福祉ホームB型とは“精神保健及び精神障害者福祉に関する法律”に規定されている施設であり、症状は安定しているけれど住宅の確保が難しい方、高齢で一定の介助を必要としている方に生活の場として利用していただくものです。昼間は就労または精神科リハビリテーションを通して自立生活に自信をつけ、社会復帰・社会参加を目指していく施設です。

平成14年1月に厚労省より「精神障害者福祉ホームB型の取扱いについて」の通達が出されました。

おりしも当院で病棟機能分化を推進し始めた時期と合致し、新病棟建築(C館)にあわせ、精神障害者社会復帰施設福祉ホームB型の設設計画も検討され、平成14年10月に第1回福祉ホームB型設立準備委員会が開催されました。

開設場所、補助金などの問題もあり一時あきらめかけた時もありましたが、平成16・17年度2年度に亘った補助金対象事業として県の認可が下り、平成17年1月加藤邦之助名誉院長宅の跡地にて建築が始まり、平成17年8月31日竣工しました。



福祉ホームB型「あしび」➡



福祉ホームB型「あしび」

鉄骨造2階建て、敷地面積555.06m²、1階床面積270.00m²、2階床面積272.50m²、居室20室でエアコン、ベッド、収納を備え、共有部分として食堂・談話室、キッチンコーナー、浴室、洗面、トイレ、洗濯室、喫煙室などがあります。

名称も「あしび」(注)と名誉院長から命名していただき、平成16年3月より正式にあしび準備委員会(以下準備委員会)が発足しました。

準備委員会は定期的に医師・看護師・薬剤師・精神保健福祉士・



キッチンコーナー



居室



2F 談話室



食堂・談話室



洗面



洗濯室



スタッフルーム



浴室

つつ方向性を探っていきました。また8・9月とデイケアセンターの協力でデイトナイトケアの体験を行い、10月からの入居に備えました。

平成17年4月に院内の4名の精神

書類作成、物品購入など全てに関わり、自分たちが作り上げて行くことに戸惑いながらも充実感も感じ始めている様子でした。

あしびの食堂や談話室から見える共和病院をこれから利用者の方々はどう眺めるのでしょうか。病院の敷地内の施設であっても、退院したと早く実感していただき、通院先の病院が近くにあるだけと感じていただけるような支援をしていければと思っています。時には手を、言葉を添え、また寄り添いながらの支援から自立への見守りへと

変わっていくことができればと思います。また、スタッフ自身もあしびの運営を通じて利用者の方々と共に成長できるようにしてもらえればと思います。

そして今後、同じように地域や関係機関の皆様には、スタッフを含め福祉ホームB型あしびをご支援を頂き、見守っていただければ幸いです。

作業療法士・事務職・デイケアスタッフ等多職種が集まり、入所準備の様々な活動や運営などについて検討を重ねてきました。その中で作業療法士が中心になって行われた入居予定者の入居準備グループ活動は「あしびグループ」として平成16年9月28日より週1回の活動が始まり、平成17年9月27日に終了の会を行いました。患者様の中にはさまざまな問題、そして不安を持ち、揺れ動く方たちもありましたが、多職種スタッフがそれぞれの立場で助言し、またケースカンファランスを実施してご本人の意思を優先し

科勤務の経験者に、あしびスタッフとしての内示がされましたが、しかし皆、福祉ホームに対する経験はなく、準備委員会、グループ活動への参加、他施設見学と実習の経験を生かして、

(注)「あしび」とは馬酔木(あせび)と書き、つぼ状の花が連なって咲く春の花です。花言葉は「献身、いつも一緒」

我が病棟自慢

～C-2病棟～



こんにちは、C-2病棟です。この病棟は介護保険適応の介護療養病棟です。病状が安定している患者さまが医療・看護・介護の各サービスを受け、基本的に在宅復帰を目標に療養生活を送っています。独り言が多く人一倍動く石原課長、名古屋弁炸裂で元気いっぱいの国松係長心得を筆頭に、ケアマネージャーをはじめ医師、看護師、介護士はもちろん、PT、ST、薬剤師などの様々なスタッフが患者さまと関わっています。また、4月から着任された山田医師は、休日も出勤するほどの患者さま想いの病棟医です。患者さまと医師との距離もより近くなりました。



このような個性豊かなスタッフが一丸となって、患者さまの日常生活動作、生活の質の維持・向上に取り組んでいます。まだまだ未熟な病棟・スタッフではありますが、患者さま・ご家族の方との信頼関係を築き、日々の業務の中で向上心を持って、患者さま一人ひとりに合ったサービスの提供を目指しています。また、患者さま、スタッフ共に楽しく過ごしていけるような環境作りにも取り組んでいきたいと思ひます。

編集後記



はじめまして。今年から共和病院広報誌“WA!”を担当させていただきます安藤です。皆様に楽しんでいただけるように、又、共和会の動向を正確かつわかりやすくお伝えできるようにがんばりたいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。

さて、大成功を収めた愛知万博「愛・地球博」ですが、皆様いかがだったでしょうか？私自身まだまだ行き足りなかったのが本音ですが、家族全員ですばらしい体験ができた事に感謝で一杯です。皆様の中にはどんな思い出が残りましたか？

すっかり秋らしくなりましたが、いよいよ福祉ホームB型「あし

ありがとう

愛地球博
EXPO 2005 AICHI JAPAN



EXPO 2005

クイズの答え

WA! 23号のクイズの答えをお教えします。

- Q1：大地の塔 世界最大の万華鏡
- Q2：タジキスタン 涅槃像
- Q3：アメリカ館 火星探査機(マーズ・ローバー)
- Q4：スペイン館 セロシア
- Q5：オランダ館 壁画
- Q6：エジプト館
- Q7：オーストラリア館
- Q8：三菱未来館 @earthもしも月がなかったら
IFXシアター
- Q9：Sol Ban Ban
- Q10：大地の塔 切り絵灯籠
- Q11：サウジアラビア館 水のオブジェ鏡
- Q12：メキシコ館 幻覚の絵
- Q13：トルコ館 大理石の噴水
- Q14：北欧共同館 オーロラのオブジェ
- Q15：アフリカ共同館 ベナン共和国
- Q16：フィリピン館 カテゴリーC金賞
- Q17：グローバルハウス 銀河時計
- Q18：ワンダーホイール展・覧・車から見た夜景

みなさんいかがでしたか？いくつかお分かりになったでしょう。まだ愛・地球博の余韻を楽しみたい方、EXPOクイズは引き続きホームページ(http://www.kyowa.or.jp/expo_quiz/)でご覧頂けまひす。

び」の開所を迎える事となりました。真っ赤に色づける様スタッフ一同意欲に燃えています。益々の発展をご期待くださいませ。

最後になりましたが、私が担当している「我が病棟自慢」ですが、各病棟・各部署のスタッフ紹介、特徴、システムなど現場のスタッフに原稿を直接依頼し、生の情報を載せています。患者様、ご家族に楽しく明るい職場の雰囲気を伝える事で少しでも安心していただければと思ひ取り組んでいます。皆様に満足いただける様に更にながりますのでよろしくお願ひ致します。

心理教育

「心理教育」という言葉をお聞きになったことはありますか？

心理教育とは、障害や疾病を抱えながらもよりよく生きるために、障害などに対する知識や情報を得て、対処法を学び、心理的・社会的な援助を受けやすくする治療プログラムです。

当院では、急性期病棟の入院患者様を対象に、平成17年3月より開始しています。テーマは、「退院後の病院の利用」、「くすりの話」で、月2回

実施しています。このプログラムは、退院間近の患者様やご家族の方がもつ不安や恐れを少なくするために、また症状への対処や養生の仕方などを考えていくために行なわれています。毎回2～3人の参加者ととも、医師・薬剤師・看護師・臨床心理士・精神保健福祉士・作業療法士などの多職種のスタッフが一緒に、こうしたテーマについて話し合っています。

具体的には、病棟内の面接室にて、スライドなども用います。「退院後の病院の利用」では、外来受診方法、各種保険・制度の利用法、通院リハビリテーション、

不調時の対応、時間外受付などについて、ま

た「くすりの話」では服薬に対する心配事や作用・飲み方などについて扱っています。これらのことを、グループで行うことにより、ご本人・ご家族が病気への理解を深め、うまく対処できるようになる

ことで、病気の再発を防ぎ、心の安定につながることをめざしています。参加者は、話しやすい落ち着いた雰囲気の中で、真剣に取り組み、周りの発言にうなずいたり、意見を述べたりしています。

べたりしています。

今後こうした活動の内容を充実させていくとともに、デイケア、デナイトケアなどのリハビリテーションでもうまく活用していきたいと考えています。



心理教育のテーマ

◎退院後の病院の利用

◎くすりの話

など



修善寺の大患と謂われた明治四十三年胃潰瘍で療養中、一応病状安定した頃の句です。大量の吐血、危篤という生死の境を彷徨ったという事はそれから後の文学作品にも大変な転機をもたらしましたが、俳句においても深い味わいのある佳句がみられるようになりまし。大吐血は八月六日修善寺温泉に転地療養してから十七日後の二十四日でした。三十分の死からよみがえって十日程たつてからの句で本人はふと出来たといっている。そして「澄み渡る秋の空、広き江、遠くよりする杭の響、この三つの事象に相応したような情調が当時絶えずわが微かなる頭の中を徂来した事は未だに覚えている」との自解があります。九月八日の日記に久しぶりに仰向いて寝たまま三句書けたと書いています。他の二句は「別るるや夢一筋の天の川」と「秋風や唐紅の咽喉伝」でした。

秋の江に
打ら込む杭の
響かな

漱石

俳句コーナ

名誉院長
加藤邦之助



L'hôpital
KYOWA

共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは!

- 患者様に安心と満足を提供する医療
- 良質且つ効率的な医療の提供
- 患者様へのサービスの充実

私たちが目指す『楽しい職場』とは!

- 毎日の出勤が楽しくなる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が患者様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

- 1.あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
- 2.あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
- 3.あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
- 4.あなたの医療上の個人情報は保護されます。
- 5.あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。

病院長 榎本 和



特定医療法人 共和会 **共和病院**

愛知県大府市梶田町2-123

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>